

埼玉県スポーツ少年団 東ブロック空手道交流大会ルール

◆形競技◆

	小 学 生		中 学 生
1～2回戦 準々決勝戦	基本形 平安・ピンアン・ゲキサイ	1～2回戦	基本形 平安・ピンアン・ゲキサイ
準決勝戦	全空連第一・第二指定形を 繰り返し演武することができる (決勝戦で形を変えてもよい)	3回戦 準決勝戦	全空連第一・第二指定形 ※繰り返し演武することができる
決勝戦	※指定形ができない場合、演武していない基本形を 行うことができる。	決勝戦	それまでに使用していない 指定形・得意形

※ ただし、小学1・2年生は、決勝まで予選と同形でもよい

- ・入場は斜め入場とし、2名同時に演武、終了後コート外に出て、旗判定により勝者を決定する
- ・形を変えなければならない回戦の際、選手に注意喚起する
- ・決勝戦のみ赤・青1人ずつ演武する

◆組手競技◆

全日本空手道連盟のルールに準じ、一部、埼玉県スポーツ少年団空手道部会ならびに同部会東ブロック大会の審判申し合わせ事項による。（今年度より新ルールを採用します）

勝敗に関する取り決めは下記のとおりとする。

準々決勝まで：幼年・小学生／1分 4点差 、 中学生／1分30秒 6点差

準決勝・決勝：小学生／1分30秒 4点差 、 中学生／2分 6点差

（「先取」が成立せずに同点終了の場合は判定で勝敗を決する。）

<ポイント>

- 一本 （3点） 上段蹴り、倒れた相手への得点技(突き技)
- 技有 （2点） 中段蹴り
- 有効 （1点） 中段、または上段突き、打ち

<ペナルティ>

10カウントルールは適用しない

倒れた相手への蹴りは禁止とし、行った場合はペナルティとする

中学生の足払いは可とする、但し、ローキックと疑われる足払いはペナルティとする

種類 カテゴリーはありません 当てた反則、当てていない反則 両手による掴み
危険技、場外、無防備、逃避、無礼

宣告 （1）注意1～3

（2）反則注意 腹部を指す

（3）反則 頭部を指す（相手の勝ち）

試合終了前15秒以降、場外等進行を妨げる行為に対しては「先取」を取り消す。

◆防 具◆

拳サポーター(赤/青、小学生については**リバーシブル**)・ニューメンホー・

ボディープロテクター（内側に着用）・インステップガード・シンガードは必須

メンホーの口元シールドは任意とする

男子はセーフティカップを必ず着用すること

（幼年～小学2年生については任意、各団指導者の判断に一任する）

◆共 通◆

形・組手とも眼鏡不可

審判員は大会当日、指導や応援等はしないこと

道着の裾や袖等の長さは、規定通りにすること

赤・青のマイ帯の使用は可とする（貸し借りは禁止）